

戦争法を止めるために

今、緊急に問われていること。行動を！

山本みはぎ

前号のニュースで、2月に行われた「許すな！憲法改悪市民運動全国交流集会」の報告を行い、いよいよ正念場の安倍政権による戦争法の成立を止めるために、「運動の発展の工夫」「運動の共同の努力」をし、これまで以上に、ひとりひとりが動くこと、運動を繋げることの必要性を書きました。

私たち不戦ネットは小さなグループで大きなことではできませんが、この目的のためにこの間動いてきました。道半ばですが、この間の運動の取り組みと今後の提案をします。

運動の共同の努力

5月9日、「みんなで止めよう！安倍政権の戦争を！」と題して集会を持った。東京の「戦争させない・平和といのちと人権を！総がかり行動連絡会議」の結成に市民運動の側で尽力をしてこられた、「許すな！憲法改悪・市民連絡会」の高田健さんをメインスピーカーに、「安倍内閣の暴走を止めよう連続行動」を呼びかけた中谷雄二弁護士、宗教者 9 条の会の石川勇吉さん、「戦争をさせない1000人委員会・あいち」の浅井事務局次長に発言をしていただき、愛知憲法会議の本秀紀事務局長からはメッセージをいただいた。

集会の目的は、高田さんに東京での「戦争させない・平和といのちと人権を！総がかり行動連絡会議」結成の経緯と意義をお話していただき、少々おこがましく不遜ながらも愛知でも横の連携をつくるという目的でした。総がかり行動は、(1)2014年2月に、文化人や平和フォーラムなどが軸になって発足した「戦争をさせない1000人委員会」と、(2)同年3月、5・3憲法集会実行委員会などに結集していた市民諸団体の呼びかけで首都圏の137の市民・民主・労働団体などにより結成された「解釈で憲法9条を壊すな！実行委員会」と、(3)5月末に再偏発足した、全労連、新婦人などを軸にした、「戦争する国づくり反対！憲法をまもりいかす共同センター」の三者で結成された。これまで様々な経緯で運動を一緒にできなかった三者が結集してできた運動体だ。

高田さんは「総がかり行動連絡会」の結成の意義を、「この数十年実現しなかったこれら運動圏の共同の努力は歴史的な意義があり、この共同の運動を全国各地の草の根での共同行動の展開にまで押し広げ、広範

な世論を組織することこそ、私たちの課題。沖縄のたたかいに学ぶ、オール沖縄から、全国各地へ。沖縄の闘いを「例外」ではなく、「先駆」として。(中略)この力が、改憲反対のリベラルな勢力の共同の行動と呼応し合ったとき、安倍政権が企てる道に抵抗し、阻止することを可能にする。」と話された。

そして、東京では5月3日の憲法集会は、「平和といのちと人権を！5・3憲法集会～戦争・原発・貧困・差別を許さない！」として3万人が結集して統一集会を開催。これを継承した「戦争させない・平和といのちと人権を！総がかり行動連絡会議」として運動を展開しています。もちろん、東京の運動との積み重ねや構造とは違いがあっても一概愛知で同じことができるとは思っていません。しかし、運動の広がりの可能性が少しでもあればその可能性を追求することは必要だ、との思いで企画しました。

私たち、不戦ネットはその立ち上げからずっと市民運動でやってきたのでこれまで労働組合系の運動とは、イラク反戦の時に1日共闘的にはつながってききましたが継続して運動を組んだことはありません。第2次安倍政権の誕生で、公然と改憲の動きを加速する中、これに対抗するためには従来の運動だけでは太刀打ちできないとの思いで、愛知平和フォーラムや個人で構成する「戦争をさせない1000人委員会・あいち」にも積極的に関わってきました。



5・24「戦争をさせない1000人委員会」東海ブロックの集会・デモ

今、4月下旬に中谷弁護士の呼び掛けで活動を開始した「安倍の暴走を止めよう連続行動実行委員会」が、「安倍の暴走を止めよう共同行動実行委員会」と名称を変え集会・デモなどを行っています。この運動に「戦争をさせない1000人委員会・あいち」として関わっていますが、残念ながらまだ平和フォーラムが組織として取り組むにはもう少し時間が必要のようです。私たちのこの考えに批判や揶揄をする意見もあります。長い

運動の歴史の中で、考え方の違いや運動の経過など様々な経緯があり一筋縄ではいかないということもわかるし、弱小で運動的な影響力もそうない私たちが一体どこまで主張できるのかという揺らぎもあります。しかし、改憲派の憲法研究者、解釈を変更して9条を骨抜きにしてきた歴代内閣法制局長官ですら、安倍のやり方、戦争法の内容には批判をし、運動に参加しています。逆に言えば、私たちの運動はここまで追い詰められてきたとも言えます。この状況に反撃するには運動の共同の取り組みを強めるしかないと確信します。そのためには、時間は限られているがあきらめなくて共同の取り組みを広げていくことを粘り強く働きかけていくしかないと思ひ、今後も動いていきたいと思ひます。

※愛知平和フォーラムは「愛教組、自治労、私鉄総連、全農林、政労連、森林労連、愛高組、部落解放同盟の8団体と個人の加盟で組織しています。団体加盟の組織人員は52,100人ですが、愛教組、自治労で約80%、私鉄を含めると3産別で93%になります。主な活動としては、原水禁世界大会、5.15 沖縄平和行進、3.1 ビキニ・デー集会、東海ブロック主催の憲法フォーラムなどです。愛知の独自の取り組みとして自治体平和要請行動と平和行進、さらに、食とみどり、水を守る運動としてアジア・アフリカ支援米の取り組みが毎年の恒例活動です。」(平和フォーラムのHPに掲載の愛知平和フォーラムからのアピール文からの抜粋)



「安部内閣の暴走を止めよう！ 4.28集会・デモ」

運動の発展の努力 楽しく、しかも主張ははっきり

6月20日、「暴走する安倍政権にレッドカード 安倍政権いかんがね！怒れる女子デモ」を行いました。この日、東京で2回目になる「女の平和ヒューマンチェーン」が行われることを知り、急遽名古屋でもと呼びかけました。気の合う数人の女性で集まり(飲み屋で)、わいわいがやがや盛り上がり、歌や詩の朗読、アピールなどなど企画が決まっていきました。それぞれの持ち味を生かし、批判はせず出来ることを自主的にやるこ

のスタイルはとても気持ちがよく、やっていた楽しかった。マスコミの反応も上々で大きく取り上げてくれました。そのおかげでこの次はぜひ参加したいとの連絡もたくさん頂きました。声を出したくても集会やデモはなかなか参加しづらい女性たちの切実な声を聞いたような気がします。今回は、8月2日、「ひかりの広場を怒りの広場に！怒れる女子デモ第2弾」を企画中です。だれでも、気軽に自分スタイルで参加できるような内容にしたいと思ひます。



継続は力

衆議院の本会議で安全保障法案の審議が開始された25日を前に、5月23日(土)から、東海民衆センターと共同で、今国会が終了するまで毎週土曜街宣を始めました。場所は、栄のメルサ前。毎回20人弱の参加があり、徐々にチラシの受け取りもよくなったような印象を受けます。チラシも漫画入りなど読んでもらえるように工夫をし、大学生や女性がインターネットを見たとき飛び入りで参加してくれたり嬉しいこともあります。

7月18日には、情宣の後、鳥越俊太郎さんたちが呼びかけている全国一斉の「アベ政治を許さない！！」スタンディングアクションを行い、デモも行う予定にしています。(詳細はチラシ参照)この取り組みは、18日午後1時に全国津々浦々で「アベ政治を許さない！」のバナーを上げて意思表示をするというものです。栄の私たちの行動の他にも、いろいろところで取り組みの計画があるようです。

国会前では、連日座り込みや抗議行動が繰り返されています。国会前だけでなく、全国各地で戦争法にNO！の声を見える形で広げていくことが緊急に必要です。世論調査ではこの戦争法に反対が上回っています。安倍政権の支持率も徐々に下がっています。「国会だけで政治は決まらない」を肝に銘じ、戦争法 NO！の声を広げ、世論調査に見合ったように、立ち上がれないほど安倍政権の支持率を落とすこと、これがキーワードです。事態は切迫し時間はあまりありませんが、全力を尽くして戦争法を止めましょう。